多摩新四国八十八ヶ寺巡拝

平成23年9月8日最後の巡拝です。この日高幡山金剛寺のご前様　第三十三代管主川澄祐勝大僧正は、吾々の満願を大変悦ばれ、11時の勤行をJASS結願法要に仕組んで下さいました。感謝。

ご前様の「限りある命を最後の瞬間まで楽しみなさい。そのためには、学ぶことを忘れず、趣味を活かして人の為に尽くすこと」のご法要を頂き、その後、客間大広間で精進料理を楽しみ、長丁場の感想などを語り合い、丸2ヶ年の巡拝は終了しました。

ご参加各位には、大変お疲れ様でした。そして、長い間のご協力誠に有難うございました。

※新四国とは【うつし、遷し、移し】で、オリジナル（四国八十八ヶ寺）を模す事だそうです。
江戸時代、明治時代に始まり四国の霊場に行かれない人達のために全国各地に数えきれない【うつし】の霊場が出来ました。

＊巡拝　　東は武蔵野市から西は桧原村まで、多摩の広域に点在する寺院の巡拝です。特に山岳地帯の西多摩郡桧原村、あきる野（大久野）、日の出町、青梅（成木、小木曽）、八王子（恩方、寺方）はバスの本数も少なく、範囲は限りなく拡がり、対処には苦労しました。コース最大の難所、小木曽、成木地区には採石場が４ヶ所もあり、のべつ往来するダンプカーに悩まされました。バスは通勤帯を外すと殆ど走らず、下見の時は4時起きして出向きました。当該49番常福寺のご住職夫人が、みかねて次の45番安楽寺まで自家用車で送ってくれました。本番の日はタクシーを使いました。この寺の本堂は、海抜680メートルの高水山々頂にあります。本堂参拝の希望者が半数近くもあり、予定外の登山組を作り、リーダー（JASS元山岳部）を決め2班に分かれて行動しました。

＊計画立案（月1回　丸2年　計24回）　　多摩全体図、バス路線図、各ルートの時刻表を揃え（西東京バスは兎に角良く使いました。礼状が来ました）、前2回実施した八十八ヶ所巡拝（玉川・御府内・各々月1回で18回）の経験を踏まえ、ルートを割り出しました。平地から始め、山岳地帯は後回しに。後半は小まめにコースの変更をしました。一旦是と決めたら、迷いなく確実に消化しました。札所本尊の参拝はレジメに般若心経を挟み、心のうちに奉読し時間短縮に努めました。
巡拝は予定通り終了しました。

＊大江先生　　亡くなられた大江禎二先生の写経教室に丸一年通い、般若心経写経八拾八巻を書き上げ、各寺院に奉納しました。大江先生は四国八十八ヶ寺を通しで3回も巡っておられます。
慎んでご冥福をお祈り致します。合掌。

＊巡拝を終えて　　人は何故巡拝するのでしょう。供養、祈願、健康、観光等目的は色々です。観光は朱印集めの趣味や、歴史・文化への関心、日常から離れてリフレッシュする娯楽等があり、その結果として日常に縛られ疲弊した我が消え、自然に溶け合って、心の安らぎが得られます。

巡拝し終えた達成感。自分一人で生きているわけではない事を知り、「おかげさま」の感謝の気持ちが湧き、「有り難い」という言葉が心から自然と出て来ます。

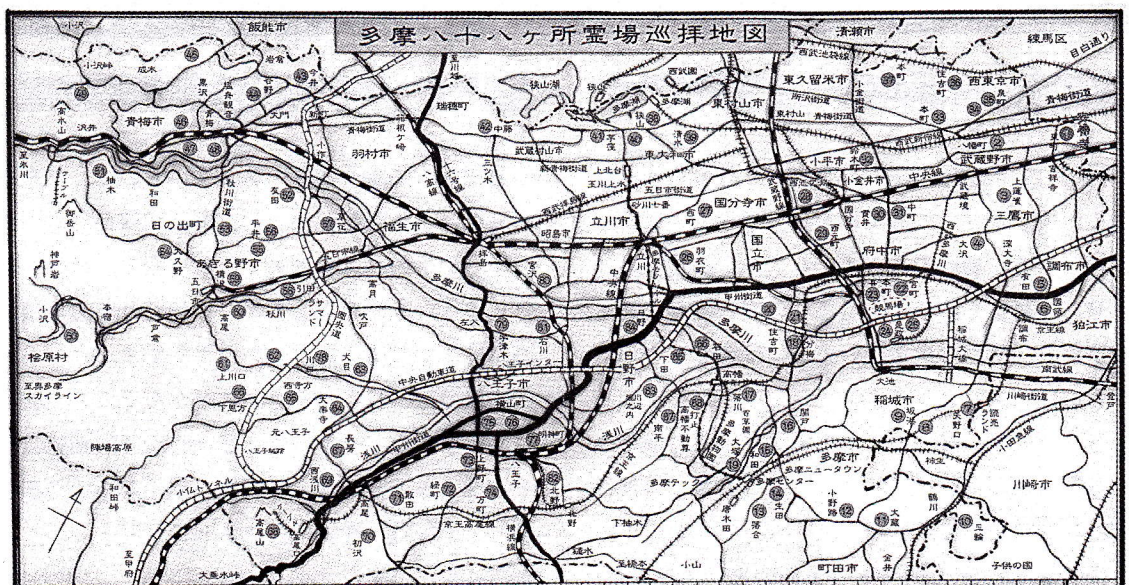
＊追記　　平成21年10月8日巡拝の初日は台風18号の余波で先送りになりました。
68番高尾山薬王院下見の帰途、車中で3月11日の大揺れを体験しました。

＊落合和男の300ヶ寺巡拝記録

玉川八十八ヶ寺	18年4月～19年9月
御府内八十八ヶ寺	18年4月～19年9月
江戸三十三ヶ寺	20年10月～21年4月
多摩八十八ヶ寺	21年10月～23年9月

番外としてルート中の三鷹禅林寺、調布深大寺、青梅塩船観音を加えると300ヶ寺となります。
同士の辻村保さん、谷川功さんご夫妻も300ヶ寺全てを巡拝されています。

記　運営委員落合和男



多摩八十八ヶ所霊場巡拝地図

| | | |